

教授会における電子投票の導入

宮川 裕司

香川大学農学部事務課

1. 背景

農学部教授会において実施している投票は、投票用紙を印刷・配布・回収し、手作業により複数名で集計する方法が採用されており、時間と手間を要していた。

2. 目的

電子投票の導入により、業務効率化を図る。（令和7年12月から導入済）

- ①事務負担の軽減
- ②ペーパーレス化
- ③会議時間の短縮
- ④集計ミスの防止



3. システムの概要

Microsoft Formsを活用し、次のとおり設定した。

①本人認証

香大IDによるログインを必須とする。

②投票内容の匿名性を担保

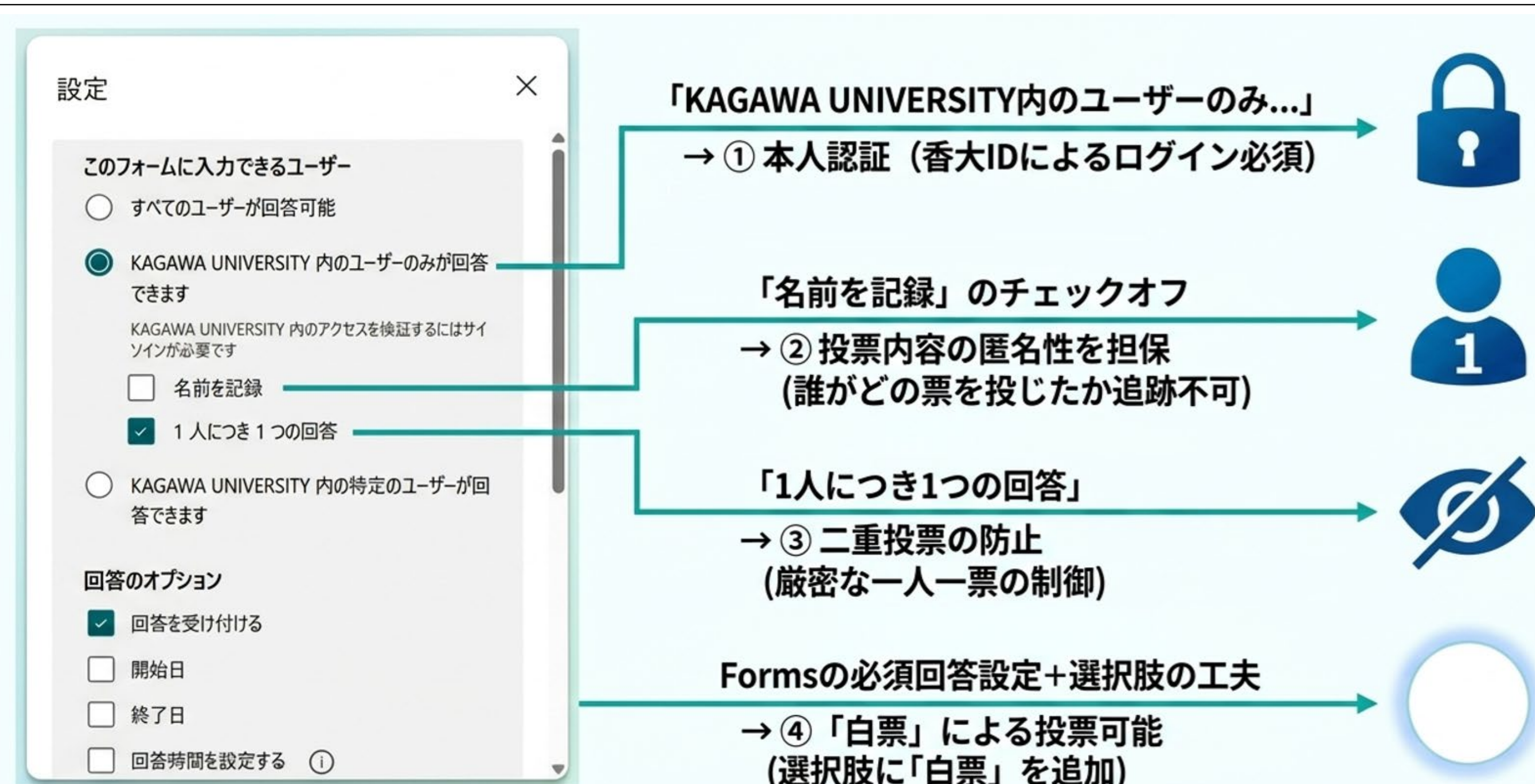
「名前を記録」をオフに設定する。

③二重投票の防止

「1人につき1つの回答」を設定する。

④「白票」による投票可能

回答を必須とするため、選択肢に白票を追加する。



4. 運用方法

①Teamsの「教授会チーム」において、電子投票のURLを連絡

管理者が投票可能な状態に設定するまで内容確認不可

②各自のスマートフォン又はノートPCにて投票

投票権は当日の出席者のみに限定（欠席者は不可）

③投票できない場合は、事務職員の香大IDでログインした貸出用ノートPCにて投票

端末を忘れた場合やログインできない場合など

④投票者数の確認

教授会参加教員数と投票者数の一致を確認（不一致時は再投票）

⑤投票結果を速やかに報告

従来どおり上位3名を紙で掲示する運用を継続

⑥選挙用Formsは、Teamsの「選挙用チーム」にて管理

複数名で情報共有・確認することにより、設定・集計ミス等を防止



5. 今後の課題

①投票者数の一致確認

教授会参加教員数と投票者数が一致しない場合があった。（原因不明）

⇒再投票となり、効率的とはいえない。

⇒投票を呼び掛けても一致しない場合は、白票として取り扱うことを検討

②不在者投票

システム的には対応可能

③投票結果の報告方法

スクリーンに投影することも可能

